

第2回豊山町行政改革推進委員会議事録

1 開催日時 平成23年3月23日（水） 午後2時から午後2時25分まで

2 開催場所 豊山町役場 委員会室

3 出席者

(1) 委 員 明瀬政治委員 柴田輝雄委員 戸田久晶委員 尾野康雄委員 近藤淑徳委員 木葉清則委員 牧野祥二委員
高桑芳子委員 鈴木征美委員

(2) 事務局 鈴木幸育町長 坪井豊治副町長 長縄松仁総務部長 安藤光男総務課長 堀尾政美総務課長補佐
牛田彰和総務・防災係長

4 議題

(1) 第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランについて（案）

(2) その他

5 会議資料

- ・会議次第
- ・第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン（案）

6 議事内容

総務課長:定刻になりましたので、ただ今から平成22年度第2回豊山町行政改革推進委員会を開催いたします。委員の皆様には、ご多忙のところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議の進行を務めさせていただきます、総務課長の安藤光男と申します。よろしくお願いいたします。なお、予めお願い申し上げますが、本日の会議時間は全体で1時間30分、15時30分には終了の予定をしておりますので、よろしくお願いいたします。また、本会議につきましては、発言者の氏名を除いて議事録を公開させていただきますので、ご承知置き願います。

(1) 会長あいさつ

総務課長: それでは、次第に従いまして、会長よりあいさつをいただきます。よろしくお願いいたします。

会 長: ここで、他でもなく去る3月11日15時46分、東北関東地方は大震災に遭遇しました。先ほど町長の了解も得ましたので、ここで1分間の黙祷をささげたいと思います。

黙祷。

(黙祷)

ありがとうございました。

大地震とそれを原因とする大津波で、被災地は騒然としております。その時に問われること一つは行政能力であり、とりわけ職員の指揮命令が町長を筆頭になされうかが非常に重要であるということを痛感いたします。今回、行政改革にあたっては、片方で町の職員を減らすとか、いろんな形で制約を設けられて、そのことがあたかも行政改革であるが

ごとく語られますけれども、果たしてそうなのかという疑問を、もう一度考えないといけません。ただ予算全体の中で、一定の基準を持ちながら削減をする方向は致し方ないのか、まさにそのことが問われている委員会でもあると思います。

片方で、もう一つ考えなければならないことは、町に（やるべき業務の）全部を投げるという方向感では、何一つ解決しないということです。今回の惨事を見れば一目瞭然であると思います。それは何かというと、大きくいうと国民の意識レベル、地域にあつてはコミュニティのありようが問われている。その組織がしっかりしている自治体に関しては、復興への足取りも早くなるのではないかということをニュース等を通じて考えさせられました。われわれはこれまで、町としての役割分担等々を含め議論してまいりましたが、もう一度、家族を核に、地域での活発な、防災を含めた活動に寄与するような、そういう意識で行動できるよう取り組むことが必要であると痛感しました。このような状況の中で、コミュニティはどうあるべきか、もう一度、町民全体で考える必要があると思います。簡単ですけど、あいさつに代えさせていただきます。

(2) 町長あいさつ

総務課長：ありがとうございます。続きまして、町長よりあいさつを申し上げます。

町 長：皆さん、こんにちは。今日は、平成22年度第1回豊山町行政改革推進委員会を開催いたしましたところ、ご多忙中、ご参集賜り、誠にありがとうございます。先ほどの黙祷に始まりまして、会長さんからお話がありました。3月11日発生の東日本大震災、地震、津波と福島第一原発事故という3つが重なっているということから、今日で11日目を向かえ、こういうことでございます。お亡くなりになりました方々、そしてまだ行方のわからない方、たくさんお見えになります。心からお悔やみ申し上げたいと思っております。本町といたしましても、義援金、物資も町民のみなさん方に少しでも、ご支援を賜ればなど、こういう風に思っておりますし、実際も行っております。よろしくお願い申し上げます。

それでは、2月23日の第1回に引き続きまして、第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランのご審議をお願いするものでございます。なお、2月24日から3月10日までの15日間、パブリックコメントを実施いたしましたが、寄せられたご意見はございませんでした。本日、再度委員の皆様方にご意見をいただきまして、最終案を作成するために、答申をいただきたいと思っております。また、皆様方には、平成23年度以降の実施計画の推進等にも、ご意見、ご進言をいただくため、ご足労をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。簡単でございますが私のあいさつとさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

(3) 資料確認

総務課長：それでは、本日の資料の確認になりますけれども、本日の資料といたしましては、次第が1枚となっております。なお、前回の会議資料をお持ちいただくようお願いしておりますけれども、お持ちにならない方は、いらっしゃらないで結構です。

(4) 会議の成立

総務課長：ここで、ご報告申し上げます。豊山町行政改革推進委員会設置条例施行規則第4条の規定に基づきまして、会議の成立には委員の過半数の出席が必要となっております。現在の出席委員は、10名中9名でございます。よって本会議は成立しておりますことを、ここでご報告申し上げます。

(5) 議題

総務課長：それでは、議題にはいります。まず、議題に入ります前にご報告申し上げます。第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン（案）について、先ほど町長のあいさつにもございましたけれど、2月24日から3月10日までの15日間、パ

ブリックコメントを実施いたしました。その結果としましては、寄せられたご意見はございませんでした。また、委員のみなさまからも、ご意見等はございませんでした。従いまして、第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン（案）について、前回の会議から変更はありませんので、よろしくお願いいたします。では、行政改革推進委員会設置条例第5条の規定により、議長は、会長が行うこととなっておりますので、以後の取り回しにつきましては、会長にお願いいたします。

会 長：ただ今から、会議の進行を私が務めさせていただきます。議題1の第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プラン案について、前回の会議から変更はないという事務局からの報告がありました。これに加えて、ご質問あるいは、ご意見のある方は、ここでご発言をお願いしたいと思います。

特段のご意見はでてまいりません。前回を通じて以上のご討議いただきました内容に基づいて、よろしければ本案を当委員会から第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランとし、豊山町長への答申として提出させていただきたいと思いますが、よろしゅうございますか。

委 員：異議なし。

会 長：ここで、会長としての答申案を作成しましたので、皆様でご検討願います。少し時間をいただいて、お目通り願えればと思います。よろしくお願いいたします。

（答申案配布）

会 長：いかがでございましょうか。趣旨、文言も含めてこれでよろしければ…。よろしゅうございますか。

委 員：異議なし。

（6） 答申

会 長：読み上げさせていただきます。

豊山町長 鈴木幸育様

豊山町行政改革推進委員会 会長

第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランの審議結果について、答申いたします。

平成23年2月23日付け22豊総第4269号で諮問のありました「第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランについて」、慎重に審議してまいりました。この結果を踏まえ、当委員会としては第4次豊山町行政改革大綱・集中改革プランを適切と認め答申します。なお、本計画の推進にあたりましては、以下の事項を踏まえ、この計画の実現に努められることを要望します。

記 ひとつ、計画の推進にあたっては、住民サービスの低下を招くことのないよう、それぞれの課題を検証しながら推進されたい。以上であります。

平成23年3月23日

（答申書を町長に手渡す）

町 長：ありがとうございました。

会 長：よろしくお願いします。

（7） その他

会 長：今、読み上げさせていただきました。では、その他のほうに移らせていただきたいと思います。その他事務局何かございますか。

総務課長：ございません。

会 長：委員のみなさまから何か、ここでご意見等ございましたら、承りたいと思います。よろしゅうございますか。

委 員：私もこの委員会に18年からたずさわらせていただいておりますが、過去に何度か、町の議員さんがお見えになっ

ておりますから、なんですが、議会議員の一部の人達から、行政の職員の削減、これが即行政サービスの低下につながると、というような発言をされる議員の方も、お見えになるやに聞いております。私もこれに5年間たずさわらせていただいておりますが、この間町の行政職員の人数の削減ということがなされてきたわけですが、それによって、決して私は行政サービスの低下につながっておるとか、そのような風には感じておりません。まして少なくなった分、職員の自立と申しましょうか、そういう努力によってですね、補われてきているという風に感じておりますので。過去の削減以前の職員数を比較しますと、じゃあ、多かったときはなんだったんだと、逆に、その分職員の皆様方が、それだけの努力をされている結果であるのではないかと、このように日々感じておるところでございます。意を強くして、職員のこれからの育成に、今一度ご尽力いただければと、このように思っております。

会 長：ありがとうございます。他にありますでしょうか。

委 員：先ほど冒頭の会長のあいさつにもありました、お言葉で、こういう大災害のときに隣近所の付き合いが、一番大切だよということは身にしみて、誰でも思っていることですが、最近、町内とかどこでも自治会に入らないという人が増えてきていると。そういうことを何とか、もう一度強制的にしてもらわないといかんなど。それから、村時代から念仏講をお彼岸に2回やる講があった。それが最近、それもやらない。というのは、若い人が核家族化で、跡取りをやっていない。そうすると、老人ばかりになって、昔やっていた念仏講というのは、先祖を年に2回お参りして、各家庭を回って念仏をあげる行事のこと、それがなくなって。隣近所の付き合いがなくなって、すぐ隣におっても、あいさつもせんようになった。前は、周りの絆も強かったんですが。

委 員：そういうために、ご承知のように昨年度、小学校区単位の自主防災組織というものが立ち上がったんです。そういうものを地域コミュニティというものに浸透させながら、町民一人ひとりの理解力を集めて方向付けをしていくというのが、コミュニティ、ひとつの大きな災害のときの対策とか、人々のつながりにつながっていくわけですから、先生方、一番の先頭に立ってやってもらわなければいけません。

委 員：自慢じゃないですが、諏訪地区というのは、婦人消防というのをやっていて、それがだんだん年をとって若い人がいなくなって。

委 員：若い人が参加できるように、システムの方向付けをしていく必要があると思うんです。

委 員：今度、もう一度老人会の会長を引き受けて、老人ががんばってやらんと。

委 員：地域の防災組織の活動を。

副 町 長：地域で自主防災とか色々やっていただいておりますけれど、今は、ただ訓練だけではなかなか人が集まっていただけませんので、遊びの心を取り入れていただいたり、たとえば、バーベキュー大会もあって、子どもも家族も参加していただきながら、防災訓練をやられるとか、色々趣向を凝らしていただかないと、なかなかそれだけやりますよという、参加者が少ないのが現状です。遊び心を取り入れてやっているところもありますし、町長の地元などは、毎年バーベキュー大会をやられて、子ども会も含めてやって見えるところもありますので、いろんな要素を取り入れながら、地域が連帯をすることが今回の災害で、一番みなさんが認識されたことだと思いますので、またこれから変わってくると思いますので、行政もそうですけど、大変なことですけど、常にそういうことを呼びかけてまいりたいと考えておりますので、皆様方の地域連帯が、地域のみなさまのそういう力を通じて、そういう働きかけをしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会 長：何か私が変な方向感を出したようで。情けは人のためならずで、最後はきっちり、無償でもやらなければいけない、そういう、しよえる人材をいかに作るかが、まちづくりの基本だと私は思っています。私は専門家ではありませんが、うちの学部の中で、そういう議論も色々やってきて、どうやって雰囲気をかえるか、おじいちゃん、おばあちゃんをたきつけてなんていいですが、日々の発言において、やっぱりまず出ようよ、みんなで会おうよと、こんなときどうするんだというような、具体的に話を持っていく中で、日々の生活の中で取り組めるような方向感を作っていかないと、何も変わらないと思います。

ただひとつうれしいことは、幸い、たとえばワシントン・ポストなんか見ますと、日本人はすごいぞ、こういったとんでもない災害が起きても、みんな助け合っている。これはすごいことで、それはもうわれわれの血の中に入ってますから、それをもう一回掘り起こして、引っ張り出すというような気持ちで。ボランティアですね、無償でやるのが結果的に自分に跳ね返ってくるんだと。

こんなところでしゃべることではないんですけども、どの町に行っても同じような問題を抱えているんですね。たとえば足助みたいなおところだったら、ある種の凝縮する要件がありますけど、新興住宅地であったり、そういう町ではなかなか新しい住民を迎えて、従来の組織運営をどうやって盛り立てていくのか、難しい問題を抱えていると思います。私どもの大学でも豊山町との協定に基づいて、いろんな催し物、あるいは啓発活動にも参加していますので、ぜひ利用していただいて、「あの人よくやった」と亡くなった後に報われるような、そういう行為のできる人、やれる社会、町になっていけばいいなと思います。

話がやや逸れました。それでは、事務局からありましたように、後ろが切られているということで、時間が限られた中ではありましたが、ほぼ予定の時間に近づきつつあるということで、本日の会議はこれで終了したいと思います。

色々のご協力ありがとうございました。

総務課長：本日はどうもありがとうございました。